2026 年度　入学試験問題

社　会・理　科

（帰国生入試）

［注意事項］

1．定規、三角定規、分度器、コンパス、計算機は使ってはいけません。
　これらはかばんの中にしまいなさい。

2．試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

3．この問題冊子の中には、社会（1 ～ 8 ページ）と理科（9 ～26ページ）の問題があります。

4．解答用紙は、問題冊子の中にはさんであります。試験開始の合図があったら、解答用紙を取り出して両面（社会・理科）それぞれに受験番号と氏名を記入し、QRコードシールをはりなさい。

5．解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

6．問題冊子の余白等は自由に使って構いません。

7．試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

東京都市大学付属中学校

社　　会

1　次のＡ～Ｄは、各都道府県の特徴について説明しています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

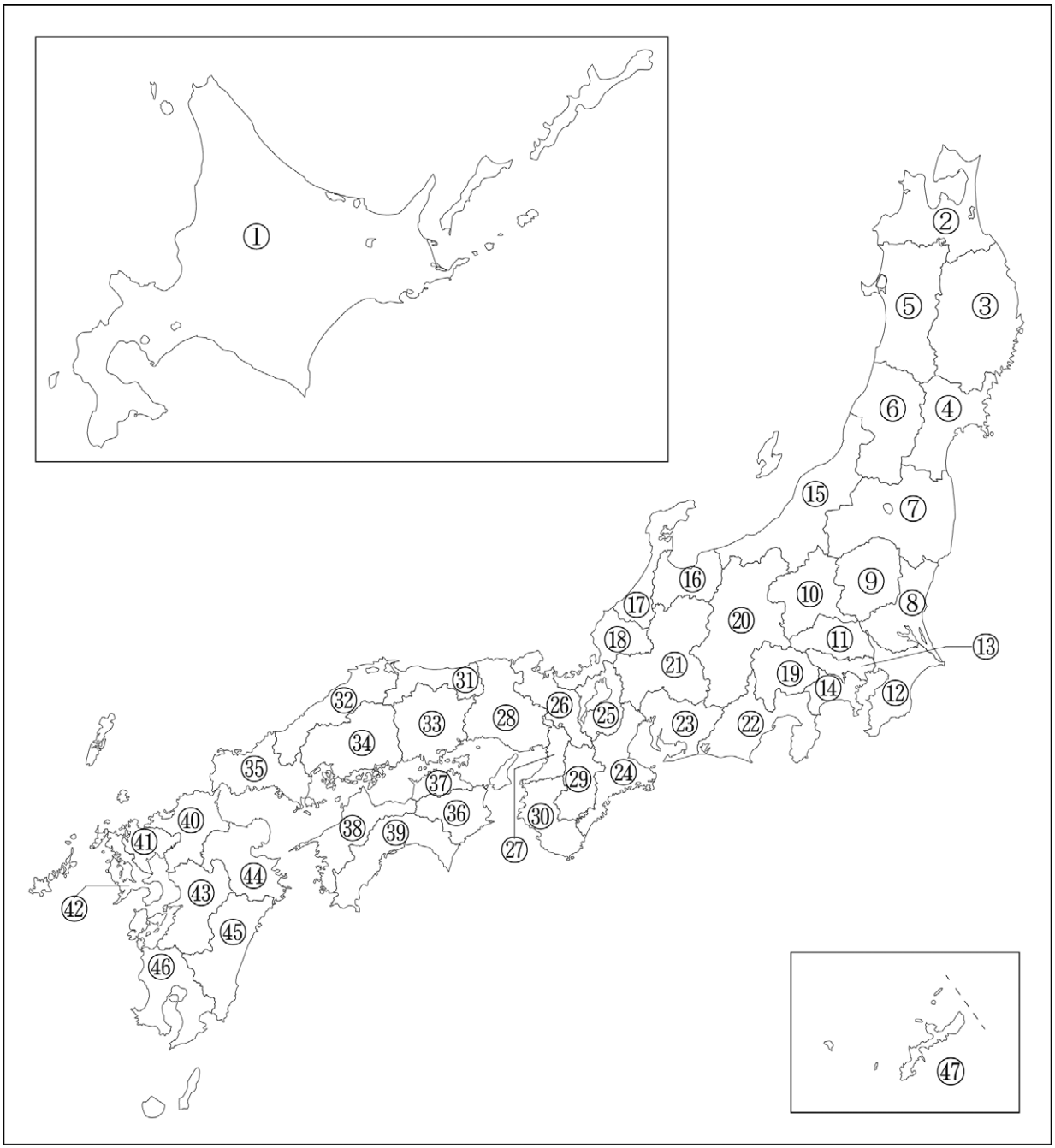
Ａ　都道府県の中で人口が２番目に少ない。

Ｂ　東北地方の中では人口が１番多い。

Ｃ　内陸県の１つでもっとも多い８つの県と接している。

Ｄ　2025年に万博が開催され、多くの人たちが訪れた。

【略地図】



問１　Ａについて、次の問いに答えなさい。

⑴　Ａについて説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　しじみの漁かくで有名な汽水湖の宍道湖（しんじこ）がある。
b　Ａでもっとも標高の高い山は、大山（だいせん）である。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

⑵　Ａに属している隠岐（おき）は、かつて承久の乱で敗北した上皇が流された場所です。この上皇の名前を解答らんにあうように漢字で答えなさい。

⑶　Ａの都道府県庁所在地名を漢字で答えなさい。また、Ａの都道府県の位置を【略地図】から選び、番号で答えなさい。

問２　Ｂについて、次の問いに答えなさい。

⑴　Ｂには、多賀城跡（あと）が史跡（しせき）としてあります。ここは奈良時代に蝦夷（えみし）との戦いの前線基地になっていました。奈良時代について説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　口分田が不足していたことから三世一身の法、墾田永年私財法が出された。
b　聖武天皇の遺品は、校倉造の正倉院に収められている。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

⑵　Ｂについて説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　奥州藤原氏の本拠地であった平泉には、中尊寺金色堂や毛越寺（もうつうじ）がある。
b　東北新幹線と山形新幹線の分岐となる駅がある。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

⑶　Ｂの都道府県庁所在地名を漢字で答えなさい。また、Ｂの都道府県の位置を【略地図】から選び、番号で答えなさい。

問３　Ｃについて、次の問いに答えなさい。

⑴　Ｃには、旧石器時代の遺跡として有名な野尻湖遺跡があります。旧石器時代について説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　旧石器時代の遺跡からは、打製石器の他に、磨製石器や石包丁、土器の破片が見つかっている。
b　旧石器時代の遺跡として三内丸山遺跡や岩宿遺跡、モースの発見した大森貝塚がある。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

⑵　Ｃには、武田信玄と上杉謙信が数度にわたって戦った川中島があります。２人の戦国大名について説明した文として正しいものを次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。すべて誤っていれば 5 と答えなさい。

1　武田信玄は、桶狭間の戦いで今川義元に勝利し、勢力を拡大させる基礎を築いた。
2　上杉謙信は、関ヶ原の戦いで徳川家康と共に戦い、江戸時代には譜代(ふだい)大名となった。
3　武田信玄は、鉄砲を有効活用した織田信長に長篠の戦いで敗北した。
4　上杉謙信は、山城の国一揆を鎮圧するために数度にわたって軍勢を派遣した。

⑶　Ｃに接している県として誤っているものを次の１～８から二つ選んで、番号で答えなさい。

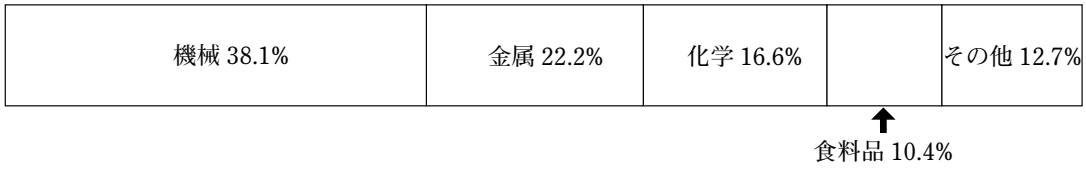
1　富山県　　2　愛知県　　3　山梨県　　4　埼玉県　　5　栃木県
6　福井県　　7　静岡県　　8　新潟県

問４　Ｄについて、次の問いに答えなさい。

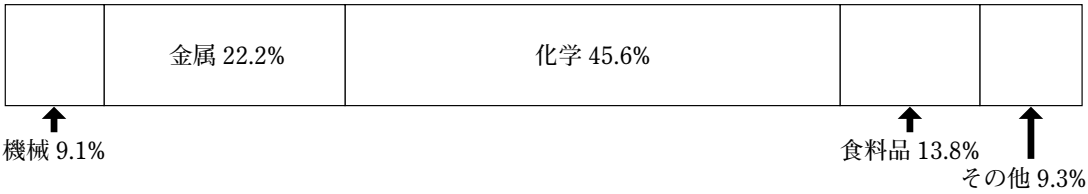
⑴　かつてＤにあった適塾の出身者のうち、慶應義塾を創設した人物を漢字で答えなさい。

⑵　次のグラフは、中京、京浜、阪神工業地帯と京葉工業地域の生産割合を示したグラフです。Ｄを中心に広がる阪神工業地帯のグラフを次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

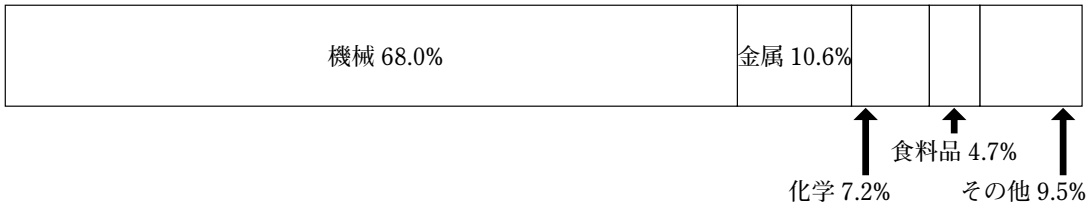
1



2



3



4

（『日本のすがた』2025より作成）

2　次の年表について、あとの問いに答えなさい。

西暦	主なできごと
(ア) 1885年	第１次 (イ) 伊藤博文内閣が成立した。
⇳【A】	
1915年	中華民国の袁世凱(えんせいがい)政権に対して二十一カ条の要求を突きつけた。
⇳【B】	
1945年	(ウ) 国際連合が発足した。
⇳【C】	
1965年	(エ) 日韓基本条約が締結された。
1975年	第１回 (オ) 先進国首脳会議がフランスのランブイエで開催された。
1985年	(カ) プラザ合意が発表された。
2025年	6月に (キ) 都議会議員選挙、7月に (ク) 参議院議員選挙がおこなわれた。

問１　下線部（ア）の西暦年は、何世紀ですか。解答らんにあうように算用数字で答えなさい。

問２　下線部（イ）について説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　日清戦争開戦時の首相だった。
b　最期は、東京駅構内で安重根により射殺された。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

問３　年表の【A】の時期に起きた出来事を古い順番に並べて３番目にあたるものを、次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

1　下関条約を結んだ。　　2　八幡製鉄所が操業を開始した。
3　日英同盟を結んだ。　　4　日比谷焼打ち事件が発生した。

問4　年表の【B】の時期に起きた出来事を古い順番に並べて3番目にあたるものを、次の1～4から一つ選び、番号で答えなさい。

1　二・二六事件が発生した。　　2　ミッドウェー海戦で日本軍が敗北した。
3　盧溝橋（ろこうきょう）事件が発生した。　　4　日本が国際連盟を脱退した。

問5　下線部（ウ）について、次の問いに答えなさい。

(1)　次のⅠ・Ⅱの組織の略称として正しいものを下の1～8からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

Ⅰ　国連児童基金　　Ⅱ　国際原子力機関

1　WHO　　2　WTO　　3　UNESCO　　4　UNICEF
5　IMF　　6　IAEA　　7　PKO　　8　UNHCR

(2)　安全保障理事会の常任理事国5か国が1か国でも反対すると、手続き事項以外の決定ができなくなります。このように常任理事国が持つ特別な権限の名前を漢字で答えなさい。

問6　年表の【C】の時期には、日本国憲法が公布・施行されています。これについて、次の問いに答えなさい。

(1)　次の日本国憲法第9条の空らん［　あ　］～［　お　］にあてはまる語句をそれぞれ漢字で答えなさい。

第九条　日本国民は、［　あ　］と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、［　い　］の発動たる戦争と、［　う　］による威嚇（いかく）又は［　う　］の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の［　え　］は、これを保持しない。国の［　お　］は、これを認めない。

⑵　【C】の時期に公布・施行された日本国憲法において、その改正について書かれた次の条文の空らん［　か　］にあてはまるものを下の１～５から一つ選び、番号で答えなさい。また、空らん［　き　］にあてはまる語句を漢字４字で答えなさい。

※空らん［　×　］に関する設問はありません。

この憲法の改正は、各議院の総議員の［　か　］以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の［　き　］又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その［　×　］の賛成を必要とする。

1　過半数　　2　四分の一　　3　三分の一
4　三分の二　　5　四分の三

問７　下線部（エ）について、この条約を締結したときの首相を次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。さらに条約を承認する機関を次の５～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　佐藤栄作　　2　鳩山一郎　　3　田中角栄　　4　池田勇人
5　裁判所　　6　内閣　　7　天皇　　8　国会

問８　下線部（オ）について、先進国首脳会議は別名でサミットともよばれます。日本でサミットが開催された地名として誤っているものを次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

1　沖縄県名護市　　2　北海道洞爺湖（とうやこ）町
3　長崎県長崎市　　4　三重県伊勢市

問９　下線部（カ）について、プラザ合意では日本の対米貿易黒字を解消するために、円高へ誘導することが決められました。プラザ合意や為替の動きなどについて説明した文 a・b の正誤の組合せとして正しいものを下の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

a　１ドル 120 円前後で推移していたが、プラザ合意から約１年後には、１ドル 235 円前後の円高が進んだ。
b　円高によって、日本の輸出産業は打撃を受けた。

1　a―正　b―正　　2　a―正　b―誤
3　a―誤　b―正　　4　a―誤　b―誤

問10　下線部（キ）と（ク）の選挙や当選した議員について説明した文として正しいものを次の1～6から二つ選び、番号で答えなさい。

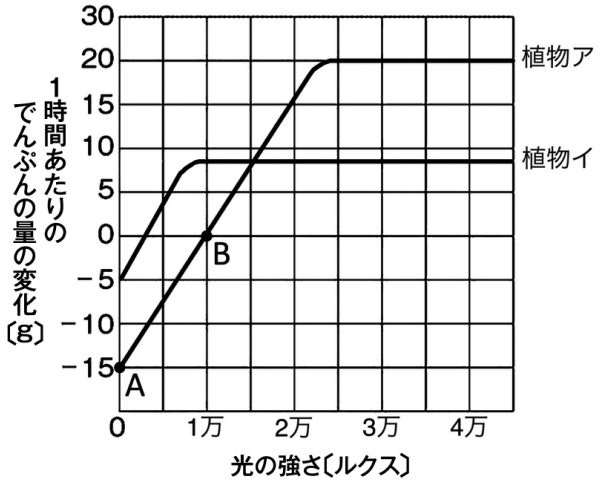
1　都議会議員選挙と参議院議員選挙はともに選挙権は18歳以上で、被選挙権は30歳以上である。
2　2025年に当選した都議会議員と参議院議員の任期は 4 年である。
3　都議会議員選挙と参議院議員選挙では、ともに政党名を記入する比例代表制が導入されている。
4　参議院議員選挙の後に、臨時国会が召集された。
5　都議会議員選挙では、都民ファーストの会に次いで自由民主党が多くの議席を獲得した。
6　2025年の参議院選挙では、47の選挙区から50名の議員が選ばれた。

理　　科

1　次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

植物の成長は、光合成と呼吸の関係性が非常に深く関わっています。光合成は光のエネルギーを利用して二酸化炭素と水からでんぷんなどを合成するはたらきのことです。一方、呼吸は生活に必要なエネルギーを取り出すはたらきのことであり、このときでんぷんなどを消費しています。

図は、植物アと植物イについて、1時間あたりのでんぷんの量の変化と光の強さ、増減の関係を調べたものです。図中の「ルクス」は光の強さの単位を表します。また、縦軸(たてじく)の「15」は、植物の体内で1時間あたりでんぷんが15g増加したことを表し、「−15」は、植物の体内で1時間あたりでんぷんが15g減少したことを表します。ただし、呼吸によって使われるでんぷんの量は光の強さが変化しても一定であるものとします。



図

問1　植物の体の中でつくられたでんぷんについての文のうち、最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号で答えなさい。

1　でんぷんはそのまま水にとけて師管を通って体全体に運ばれる。
2　でんぷんは実や種子などに蓄(たくわ)えられる。
3　でんぷんはつくられた葉の中だけで使われる。
4　葉に光が当たっているときだけでんぷんは使われる。

問２　図の点Aと点Bで、植物アはそれぞれ次の①～④の何を行っていますか。最も適当な組み合わせをあとの１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

①　光合成も呼吸も行っていない。
②　光合成は行っているが、呼吸は行っていない。
③　光合成は行っていないが、呼吸は行っている。
④　光合成も呼吸も行っている。

	点A	点B
1	①	①
2	①	②
3	①	③
4	①	④
5	③	①
6	③	②
7	③	③
8	③	④

問３　植物アと植物イに6000ルクスの光を当て続けたときの、植物アと植物イの成長についての文のうち、最も適当なものを次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。

1　植物ア、植物イともに成長できる。
2　植物アは成長できるが、植物イは成長できない。
3　植物アは成長できないが、植物イは成長できる。
4　植物ア、植物イともに成長できない。

問４　植物アが１時間あたりに呼吸で消費しているでんぷんの量は何gですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　2.5g　　2　5.0g　　3　7.5g　　4　10.0g
5　12.5g　　6　15.0g　　7　17.5g　　8　20.0g

問５　３万ルクスの光を当て続けたとき、植物アが１時間あたりに光合成で合成しているでんぷんの量は何gですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　5.0g　　2　10.0g　　3　15.0g　　4　20.0g
5　25.0g　　6　30.0g　　7　35.0g　　8　40.0g

問 6　太陽の出ている時間が14時間のある日に、昼（太陽が出ている間）の光の強さが天気や雲の出方などによって変わらずに常に一定であるとすると、植物アが24時間を通して少しでも成長するためには、何ルクスをこえる光の強さが必要ですか。最も近いものを次の 1 ～ 8 から一つ選び、番号で答えなさい。

1　1 万 1000 ルクス	2　1 万 4000 ルクス	3　1 万 7000 ルクス
4　2 万ルクス	5　2 万 3000 ルクス	6　2 万 6000 ルクス
7　2 万 9000 ルクス	8　3 万 2000 ルクス	

（問題は次のページに続く）

2 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

近年、日本の初夏から秋ごろにかけて、北陸地方では猛暑に見舞われることが多くなっています。その一つの要因として、①暖かく乾いた南風が日本アルプスなどの高い山を越えて北陸地方に入り込むことによって、その付近の気温が上がることが挙げられます。

この気象現象のモデルを図1で表しました。図1は、地点Aから地点Dに向けて空気のかたまりが移動する様子を表しています。地点A（標高0m）で25℃の空気のかたまりが山を上昇していく途中、地点B（標高700m）から山頂の地点C（標高2500m）までの間で②雲ができ、その雲からは③雨が降りました。

問3～5では、下の【条件】をもとに計算しなさい。

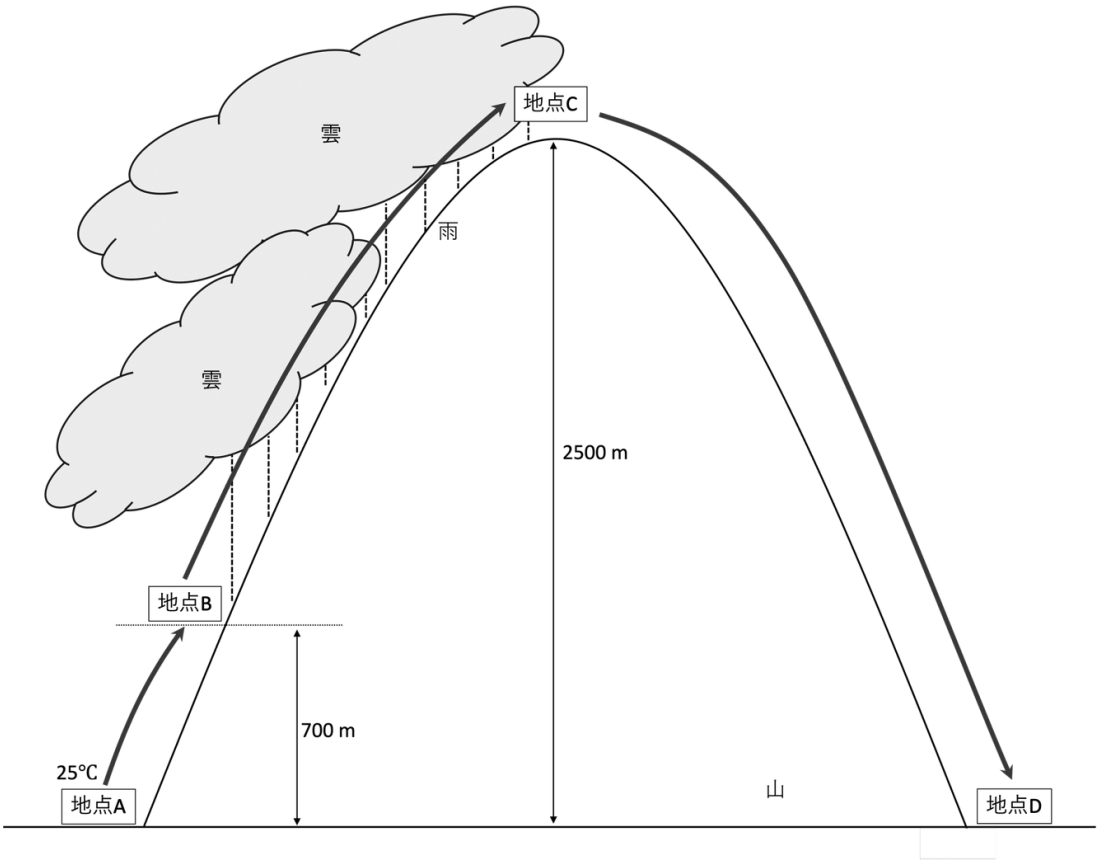


図1

【条件】

- 図の地点A～地点Bと、山頂の地点C～地点Dまでの空気は乾燥しており、地点B～地点Cまでの空気は湿っているものとします。
- 乾燥した空気は100m上昇するごとに気温が1℃下がり、湿った空気は100m上昇するごとに気温が0.5℃下がるとします。
- 飽和水蒸気量と気温の関係は次のページの図2に従うものとします。

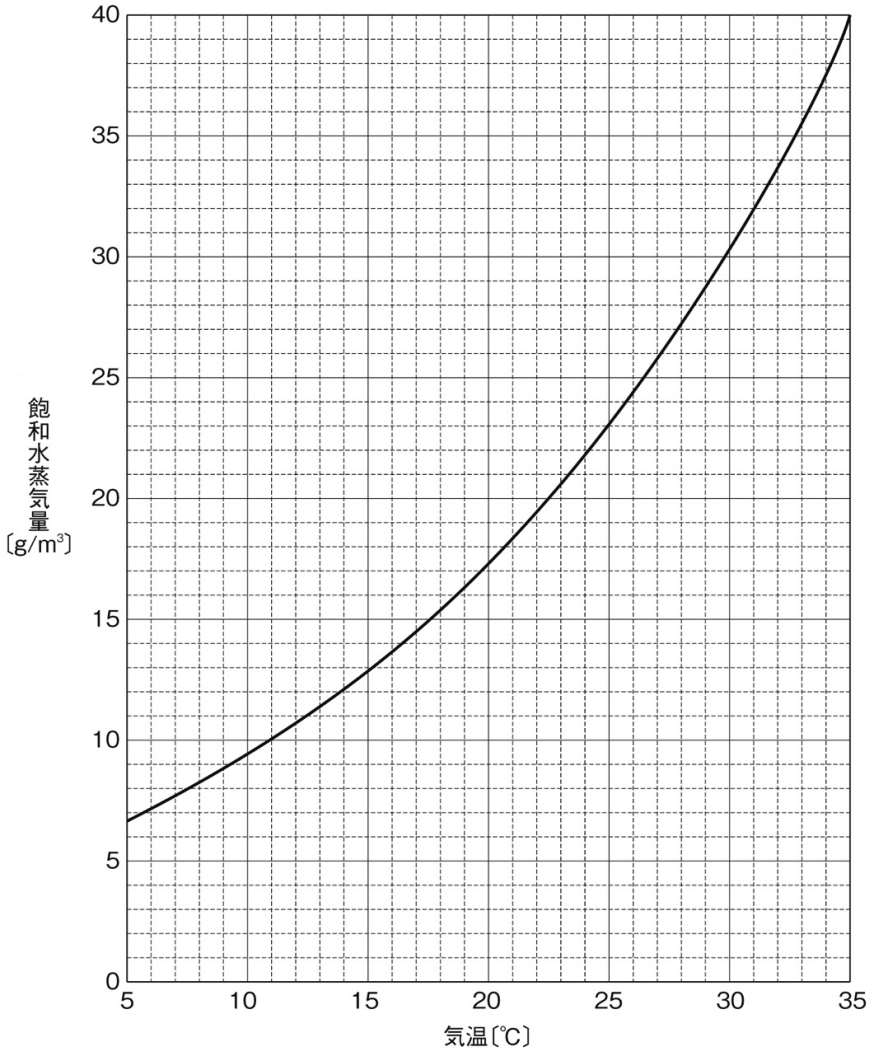


図２

問１　下線部①について、このような気象現象を何といいますか。最も適当なものを次の１～５から一つ選び、番号で答えなさい。

１　ラニーニャ現象　　２　エルニーニョ現象　　３　ブロッケン現象
４　ヒートアイランド現象　　５　フェーン現象

問2　下線部②について、次の文章は、空気のかたまりが山の斜面に沿って上昇するときに雲ができるしくみと、そのときの気温の変化について説明したものです。文中の（　あ　）～（　う　）に当てはまる言葉や文の組み合わせとして、最も適当なものをあとの1～8から一つ選び、番号で答えなさい。

空気のかたまりが上昇すると、気圧が（　あ　）ことで空気が（　い　）して温度が下がり、露点に達して水蒸気が水滴や氷の結晶になり雲ができる。

雲が発生していないときと比べて、雲が発生しているときの方が空気のかたまりの上昇による温度変化が小さくなる。これは、水蒸気が水滴や氷の結晶になるときに（　う　）ためである。

	あ	い	う
1	上がる	膨張	まわりから熱をうばう
2	上がる	膨張	まわりに熱を放出する
3	上がる	収縮	まわりから熱をうばう
4	上がる	収縮	まわりに熱を放出する
5	下がる	膨張	まわりから熱をうばう
6	下がる	膨張	まわりに熱を放出する
7	下がる	収縮	まわりから熱をうばう
8	下がる	収縮	まわりに熱を放出する

問3　図1と【条件】から考えると、地点Dの気温は何℃になりますか。最も適当なものを次の1～8から一つ選び、番号で答えなさい。

1　31.0℃　　2　31.5℃　　3　32.0℃　　4　32.5℃
5　33.0℃　　6　33.5℃　　7　34.0℃　　8　34.5℃

問4　図1と【条件】から考えると、地点Dの湿度は何％になりますか。最も適当なものを次の1～8から一つ選び、番号で答えなさい。

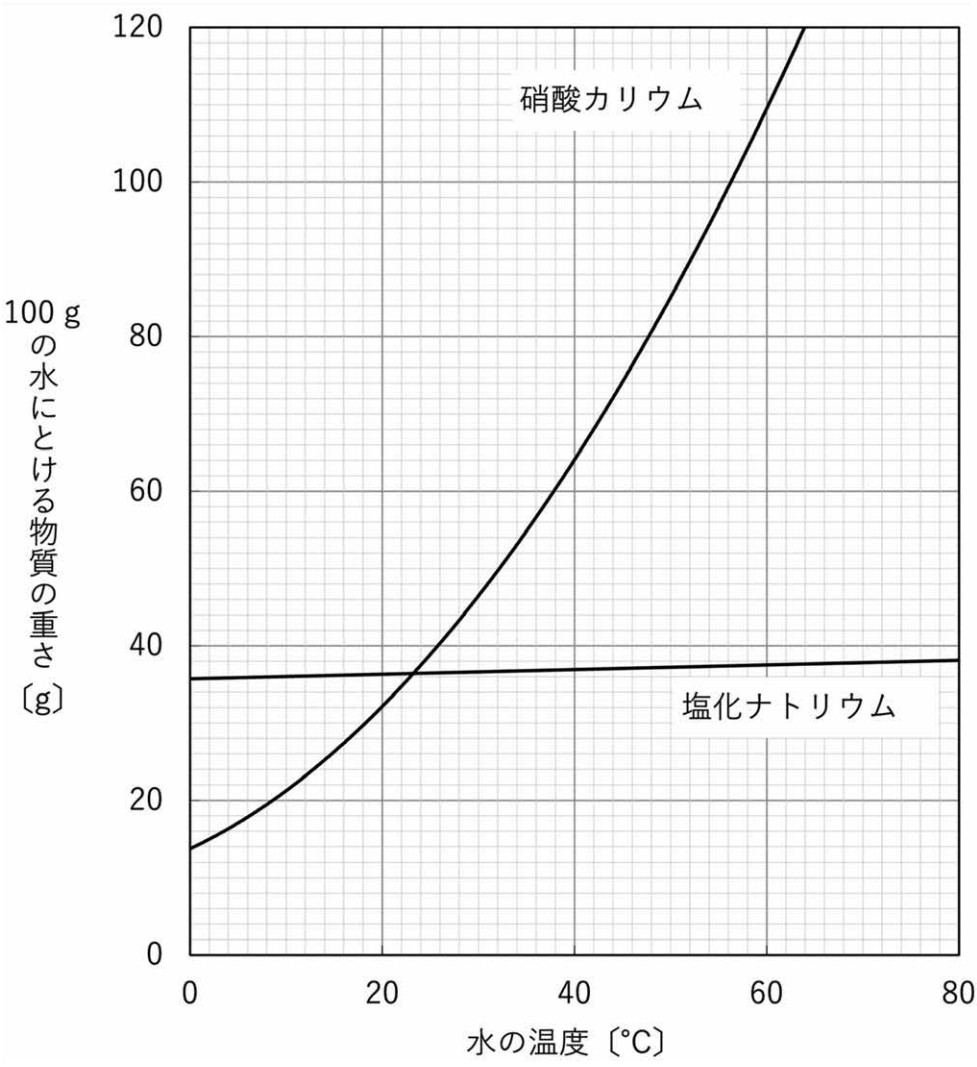
1　20％　　2　23％　　3　26％　　4　29％
5　32％　　6　35％　　7　38％　　8　41％

問５　下線部③について、図１と【条件】から考えると、地点Bから地点Cに達するまでの間に雨として降った水滴の量は、空気１m^3あたり何gですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1	5.5g	2	6.5g	3	7.5g	4	8.5g
5	9.5g	6	10.5g	7	11.5g	8	12.5g

3 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

下の図は硝酸カリウムと塩化ナトリウム（食塩）の2種類の物質について、水100gにどれだけとかすことができるか（溶解度）をあらわしたものになります。また、塩化ナトリウムおよび硝酸カリウムはおたがいの溶解度に影響をあたえないものとします。



図

問１　40℃の硝酸カリウム飽和水溶液200gの濃度は何%ですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　39％	2　44％	3　49％	4　54％
5　59％	6　64％	7　69％	8　74％

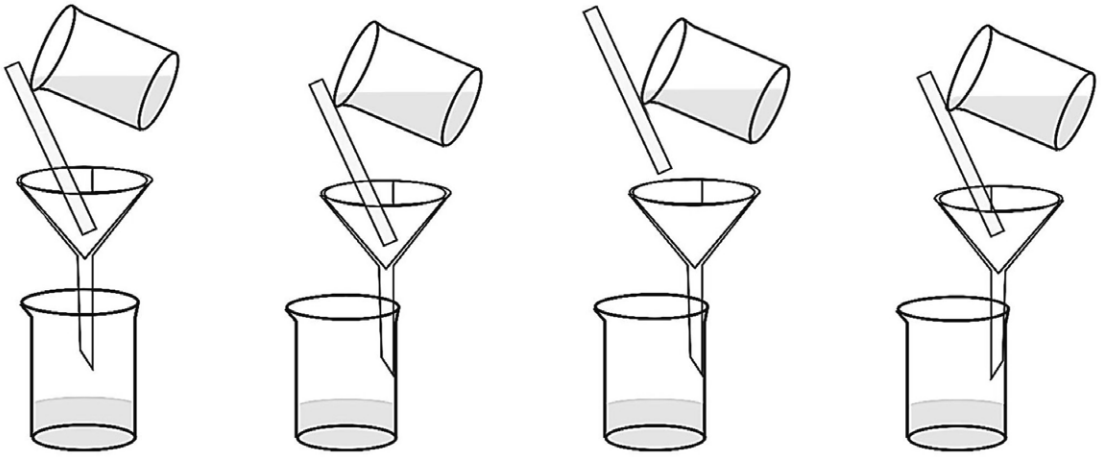
問２　40℃の硝酸カリウム飽和水溶液200gを20℃まで冷却するときに、とけきれなくなって出てきた硝酸カリウムは何gですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　29g	2　34g	3　39g	4　44g
5　49g	6　54g	7　59g	8　64g

問３　ビーカーに塩化ナトリウム75gと硝酸カリウム360gを入れ、十分にかき混ぜながら水を少しずつ加えていったところ、300gを加えたときに完全にとけました。この水の温度は何℃ですか。最も適当なものを次の１～８から一つ選び、番号で答えなさい。

1　50℃	2　52℃	3　54℃	4　56℃
5　58℃	6　60℃	7　62℃	8　64℃

問4　問3の溶液の温度を40℃までゆっくりと下げ、とけきれなくなって出てきた固体をろ過によって分離しました。①ろ過における器具のあつかい方（下図ア～エのうちいずれか）と、②ろ紙の上に残っていた固体として最も適当な組み合わせを次の1～8から一つ選び、番号で答えなさい。



ア　イ　ウ　エ

	①	②
1	ア	塩化ナトリウムと硝酸カリウム
2	ア	硝酸カリウム
3	イ	塩化ナトリウムと硝酸カリウム
4	イ	硝酸カリウム
5	ウ	塩化ナトリウムと硝酸カリウム
6	ウ	硝酸カリウム
7	エ	塩化ナトリウムと硝酸カリウム
8	エ	硝酸カリウム

問５　次の①～④のうち、食塩水のように水溶液になるものはどれですか。最も適当な組み合わせをあとの１～10から一つ選び、番号で答えなさい。

① 砂糖をお湯に入れてとかす。
② みそをお湯に入れてとかす。
③ ミョウバンをお湯に入れてとかす。
④ 氷をお湯に入れてとかす。

1	①	2	②	3	③	4	④
5	①と②	6	①と③	7	①と④	8	②と③
9	②と④	10	③と④				

4 次の［実験１］、［実験２］について、以下の問いに答えなさい。

［実験１］

図１のように、太さが同じで重さの無視できる棒を用意し、等間隔にア～ケまでの突起に記号を割り当て、それぞれの突起の場所におもりや支柱を取り付けられるようにしました。オの位置がこの棒のちょうど中央になっています。また、この棒は支柱に取り付けたときに、取り付けた場所を支点にして自由に回転できるようになっています。

おもりは重さが100g、150g、200g、250g、300gのものを一つずつ、合計５つ準備しました。おもりはそれぞれ同じ材質でできている薄い円盤形であるとします。

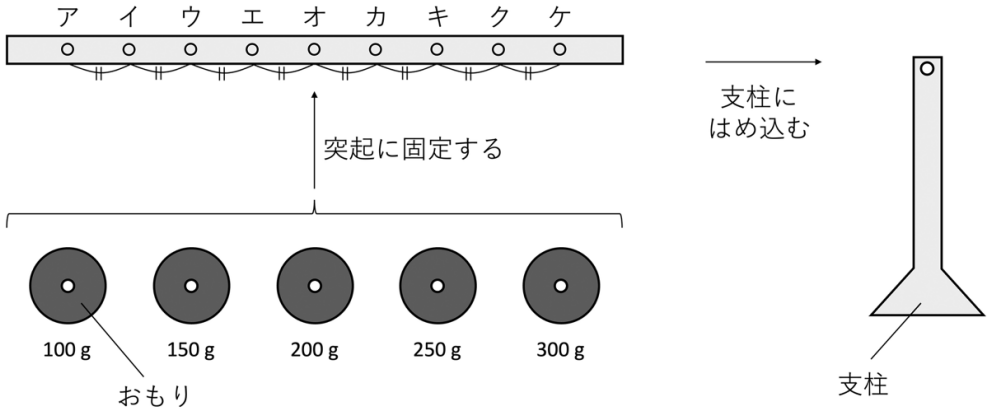
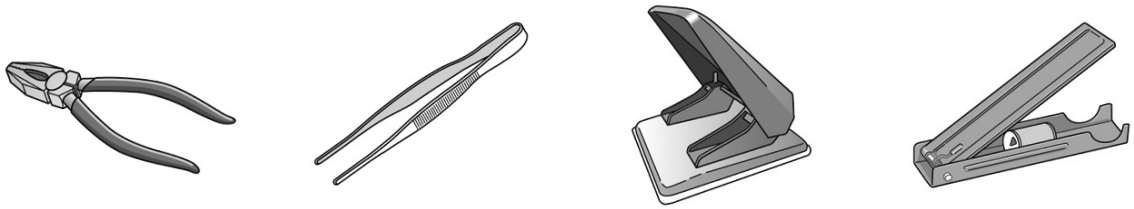


図１

問１　作用点にはたらく力が力点にはたらく力よりも小さくなる道具として最も適当なものを次の１～４から一つ選び、番号で答えなさい。



1 ペンチ　2 ピンセット　3 穴あけパンチ　4 空き缶つぶし機

問２　図２のように、オの位置で棒を支柱にはめ込み、その後ア～ケの中から２か所におもりをそれぞれ一つずつ固定したところ、棒は地面と平行になりました。このとき、①～④のうちどのようにおもりを固定しましたか。最も適当な組み合わせをあとの１～10から一つ選び、番号で答えなさい。

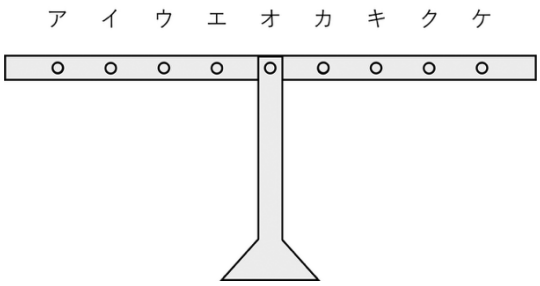


図２

①　イに 100g、カに 200g を固定する。　　②　イに 200g、カに 300g を固定する。
③　エに 250g、クに 150g を固定する。　　④　エに 300g、クに 100g を固定する。

1	①	2	②	3	③	4	④
5	①と②	6	①と③	7	①と④	8	②と③
9	②と④	10	③と④				

問３　図３のように、オの位置で棒を支柱にはめ込み、ウの位置に100g、キの位置に200gのおもりを固定しました。その後、ア、オ、ケの位置におもりを固定したところ、棒は地面と平行になりました。図３のア、オ、ケの位置に固定したおもりの組み合わせとして最も適当なものを次の１～６から一つ選び、番号で答えなさい。

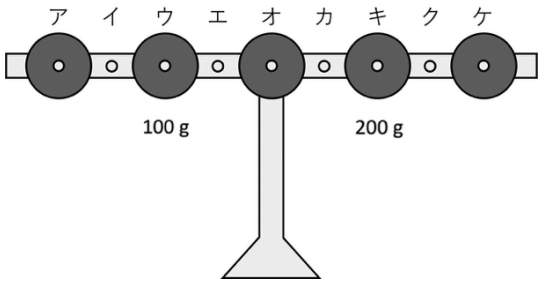


図３

	ア	オ	ケ
1	150g	250g	300g
2	150g	300g	250g
3	250g	150g	300g
4	250g	300g	150g
5	300g	150g	250g
6	300g	250g	150g

問 4　図 4 のように、エの位置で棒を支柱にはめ込み、その後、ア、ウ、オ、キ、ケの位置におもりを固定したところ、棒は地面と平行になりました。図 4 のア、ウ、オ、キ、ケの位置に固定したおもりの組み合わせとして最も適当なものを次の 1 ～ 6 から一つ選び、番号で答えなさい。

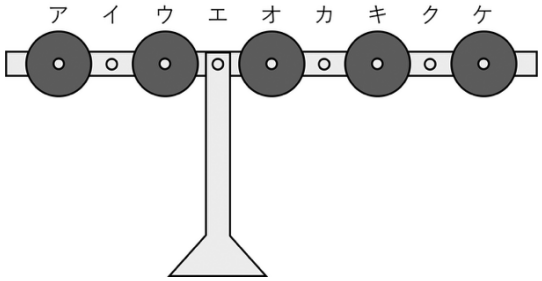


図 4

	ア	ウ	オ	キ	ケ
1	250g	300g	100g	200g	150g
2	250g	300g	150g	100g	200g
3	250g	300g	200g	150g	100g
4	300g	250g	100g	200g	150g
5	300g	250g	150g	100g	200g
6	300g	250g	200g	150g	100g

（問題は次のページに続く）

［実験２］

図５のように、厚さが同じで重さの無視できる板を用意し、等間隔にコ～ツまでの突起に記号を割り当て、それぞれの突起の場所におもりや支柱を取り付けられるようにしました。また、セの位置がこの板のちょうど中央になっています。

おもりは重さが50g、100g、150g、200g、250g、300g、350g、400g、450gのものを一つずつ、合計９つ準備しました。おもりはそれぞれ同じ材質でできている薄い円盤形であるとします。

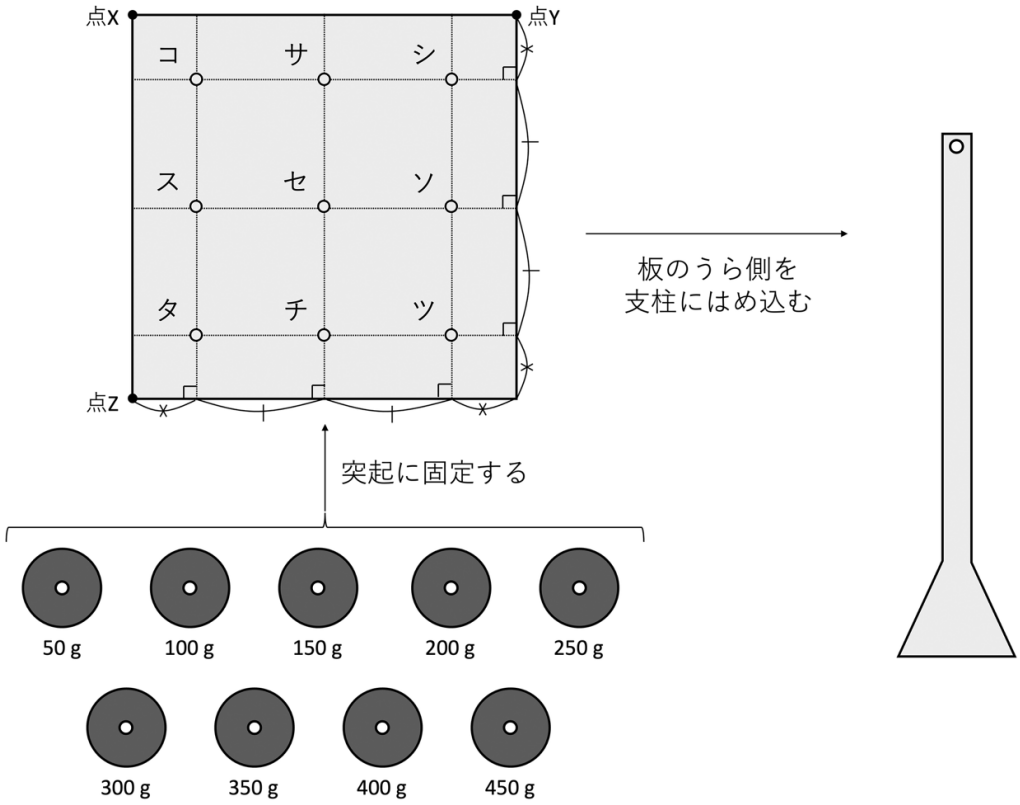


図５

問5　図6のように、板のコの位置のちょうどうら側の場所に突起aをつくり、aを支柱にはめ込んで、板がaを支点にして自由に回転できるようにしました。その後、9つのおもりをコ～ツの異なる9か所すべてに固定したところ、点Y、Zが地面から同じ高さになりました。ただし、50g、200g、300g、350g、450gのおもりを図6のように固定しました。コの位置に固定したおもりの重さとして最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号で答えなさい。

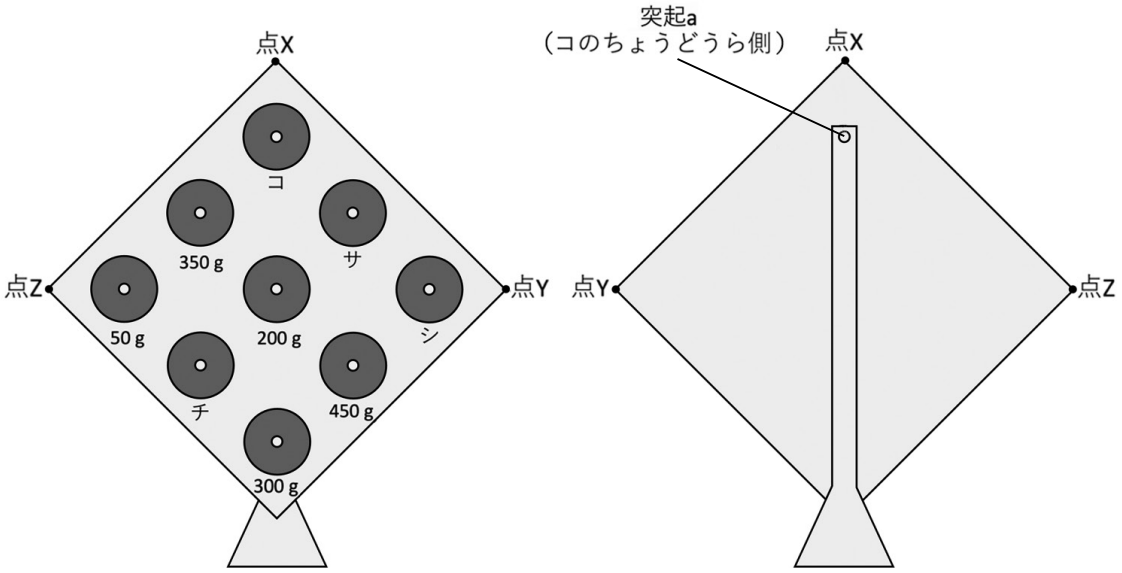


図6

1　100g　　2　150g　　3　250g　　4　400g